

平成22年度 保健看護学ユニット研究活動状況

A. 構成メンバー

石野レイ子、辻 幸代、岩井 恵子、中納美智保、
和田 幸子、台野 道子、平尾 恭子、長谷川幹子、
松下 直子、伊井みず穂、森永 聡美

B. 研究活動の概要

1. 研究計画ならびに研究費の申請と執行の経過

保健看護学ユニットの研究は、大学における地域貢献活動の一環として、地域住民の生活に焦点をあてた健康支援についての取り組みを行うことである。具体的には、看護学の専門性を活かし、住民の健康づくりにおける体系的で継続的な地域貢献として一時的な支援ではなく、日常生活の変容に繋がる継続的なプログラムが重要であると考へた。そこで住民の健康生活ニーズ調査および、健康生活支援にかかわる試験的取り組みなどをとおして、地域住民参加型の健康生活支援モデルの開発を目的とした研究活動を行うことにした。

1) 研究計画書の採択決定

平成22年7月5日第4回共同研究推進委員会において研究費200万円の配分が決定された。また、22年度共同研究費振替額(保健看護学教授6名、准教授6名分)120万円が承認され総計320万円の配分となった。

2. 学習会; 安藤仁朗(関西大学非常勤講師)

平成22年9月6日 13:30~16:00
「社会調査の基本と実際について」

3. 熊取町との連携

地域住民参加型の健康生活支援モデルの開発を目的とした研究であることから、熊取町との連携が必要であり、以下のプロセスを経て、熊取町と本学の提携に関する手続きを行った。

(1) 熊取町にぎわい課との調整

熊取町役場住民部部長 田中 豊一 氏、
にぎわい創造課課長 田中 耕二 氏、
協働推進グループ長 明松 大介 氏

(2) 熊取町健康福祉部との調整

健康福祉部健康課課長 岩田 典美 氏、
健康係長 三原 氏

①熊取町との「健康づくり実態調査に関する覚書」締結願(11/30付)を提出、12/1付で締結した。

②個人情報外部提供申請書(11/30付)、提供可決定通知書(12/1付)を受領した。

(3)福祉部会との調整・連携(6/27)部会に参加して調査研究の目的・概要を説明した。

4. 調査票等の発送手続きなど

・調査対象者の住民基本台帳から抽出
平成23年1月11日時点で対象年齢となる人の中から抽出(2000名)

平成23年1月11日, 1月17日(転出者, 死亡者等のリスト作成; 18名)

・12月13日(月); 三原係長より宛名ラベルの受領
調査票・調査のお願い、返信用封筒の封筒詰め
依頼はがきに宛名ラベルの貼付

・1月6日(木)10時: 本調査封書に宛名ラベルの貼付
・1月11日(火)

午前: 調査対象者の確認; 三原氏より受け取りと抜粋
午後: 依頼はがきの発送(郵便局へ持参)

・1月17日
午前: 調査対象者の確認(三原氏より受け取り)と、
抜粋

午後: 調査票の発送(クロネコヤマト)

・1月31日: お礼状送付

5. 調査票の回収

郵送数; 1982部

転出、不明、返送数; 11部

転出、不明、返送数などを除外したサンプル数;
1971部

回収部数; 1405(3/31末)回収率; 71.3%

2011. 3.31 現在データ分析中で、4月中に熊取町健康福祉部へ集計結果を報告するための準備をすすめている。

6. 23年度の研究予定

1. 住民参加型健康生活支援モデルの構築と査定

2. ニーズ調査に基づいたシンポジウム

住民参加型の支援モデル開発を目的としていること
の意識高揚を図る

3. 住民参加型健康生活支援モデルの開発

C. 研究業績

1. 著書・原著

上田稚代子：視覚障害者への看護ケア／和田 攻，南裕子，小峰光博編／看護大事典，第2版，東京，医学書院，2010，1229-30

上田稚代子：聴覚障害者への看護ケア／和田 攻，南裕子，小峰光博編／看護大事典，第2版，東京，医学書院，2010，2005

清川佑介，喜多村健，上田稚代子：難聴／佐藤千史，井上智子編／人体の構造と機能からみた病態生理ビジュアルマップ5，第1版，東京，医学書院，2010，213-220

桑波田悠子，喜多村健，上田稚代子：中耳炎，佐藤千史，井上智子編，人体の構造と機能からみた病態生理ビジュアルマップ5，第1版，東京，医学書院，2010，221-228

石野レイ子：担当部分 第7節 呼吸器疾患，4.介護職員基礎研修課程テキスト8 高齢者・障害者等の疾病・障害等の理解，第2版，東京，日本医療企画，2010，125-133

石野レイ子：担当部分 2章4節 浣腸，排便，5.介護職員基礎研修課程テキスト3 医療・看護を提供する者との連携，第2版，東京，日本医療企画，2010，111-120

石野レイ子：担当部分 2章5節 人工肛門，人工膀胱，腎瘻，膀胱瘻，5.介護職員基礎研修課程テキスト3 医療・看護を提供する者との連携，第3版，東京，日本医療企画，2010，121-134

平澤久一，宇佐川 徹，山田まみ，梶川拓馬，板東正己，木村美智子，市河正／監修：平澤久一／精神科看護の非言語的コミュニケーションUP術，メディカ出版，2010. 6

平澤久一，板東正己，平瀬健吾，森 明広，園田裕子，池西静枝ら／平澤久一／第1回看護師国家試験対策テスト解答・解説，メディカ出版，2010. 4

平澤久一，板東正己，梶川拓馬，木村美智子，森 明広，古田祐子ら／平澤久一／第2回看護師国家試験対策テスト解答・解説，メディカ出版，2010. 8

平澤久一，板東正己，梶川拓馬，木村美智子，森 明広，古田祐子ら／平澤久一／第3回看護師国家試験対策テスト解答・解説，メディカ出版，2010.11

平澤久一，板東正己ら／平澤久一（編）／精神科看護の非言語的コミュニケーションUP術，第2版，全国，メディカ出版，2010年6月発行，108-111

平澤久一，板東正己ら／平澤久一（編）／看護師国家試験対策テスト解答・解説，第1回，全国，メディカ出版，2010年4月

平澤久一，板東正己ら／平澤久一（編）／看護師国家試験対策テスト解答・解説，第2回，全国，メディカ出版，2010年8月

平澤久一，板東正己ら／平澤久一（編）／看護師国家試験対策テスト解答・解説，第3回，全国，メディカ出版，2010年11月

辻あさみ，上田伊津代，山口昌子，今堀陽子，池田敬子，上田稚代子ら：慢性期看護実習Bにおける看護学生の達成感を構成する要素の分析，和歌山県立医科大学保健看護学部紀要，2010，6，19-26

岩井恵子：看護学生の持つ高齢者イメージの分析，関西医療大学紀要，2010，4，110-12

石野レイ子，文 鐘聲，戸梶亜紀彦：女性オストメイトの生活安定に影響を及ぼす要因に関する研究，関西医療大学紀要，2010，4，100-109

水田真由美，松下直子，坂本由希子，岩根直美，平井祐子，福田春枝：新卒看護師のための自己効力感に焦点を当てた卒業前ストレスマネジメント教育プログラムの評価，和歌山県立医科大学保健看護学部紀要，2010，6，35-40

中納美智保，辻 幸代，松下直子，山根木喜美代，水田真由美，福田春枝：末梢の冷えを自覚している成人女性への後頸部の湿性温電法の効果，関西医療大学紀要，2010，4，47-53

2. 学術講演・学会発表

柿木那保, 中 千賀, 上田稚代子: 医療依存度が高い療養者の在宅療養を可能にする要因の明確化, 第41回日本看護学会看護総合, 山口, 2010. 7

山口昌子, 上田伊津代, 辻あさみ, 池田敬子, 今堀陽子, 上田稚代子ら: 慢性期看護実習における学生の学習意欲に影響する要因の検討, 第20回日本看護学教育学会学術集会, 大阪, 2010. 8

上田伊津代, 山口昌子, 辻あさみ, 今堀陽子, 池田敬子, 上田稚代子ら: 慢性期看護実習における看護サマリー作成による学生の学び, 第36回日本看護研究学会学術集会, 岡山, 2010. 8

岩井恵子, 森永聡美, 板倉勲子: 講義が看護学生の高齢者イメージ形成に及ぼす影響—高齢者イメージを形成する要因の分析—, 第15回日本老年看護学会, 群馬, 2010.11

石野レイ子: 女性オストメイトの社会的サポートの検討—オストメイトの会入会時自己紹介の分析—, 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会, 京都, 平成22年2月1日

伊井みず穂, 石野レイ子: 女性オストメイトの社会的サポートの検討, 第33回日本看護学会—成人看護I—, 福岡, 平成22年9月1日

平井祐子, 松下直子, 岩根直美, 坂本由希子, 水田真由美, 福田春枝: 基礎看護実習で学生が看護のおもしろさと楽しさを感じた場面, 第20回日本看護学教育学会学術集会, 大阪, 2010. 7

平澤久一: 一般演題発表座長, 日本精神保健看護学会第20回学術集会, 聖路加看護大学, 2010.10

3. その他

上田稚代子: 看護研究の実際, 海南市民病院看護部卒後研修, 海南市, 2010

岩井恵子: 認知症高齢者の支援—認知症の理解とその生活支援—, 熊取町健康福祉部会講話, 関西医療大学, 2010. 8

岩井恵子: 基礎・成人・老年看護学実習, 大阪府保健師助産師看護師実習指導者講習会, 大阪府看護協会ナーシングアート大阪, 2010. 6, 2011. 2

石野レイ子: 看護研究「研究計画書と看護の統計」, 大阪府立泉州救急救命センター看護師2年目研修, 泉佐野市, 2010. 6

石野レイ子: 看護研究の実際「クリティーク」, 大阪府立泉州救急救命センター看護研究, 泉佐野市, 2010.12

鹿島英子: ATPを用いた接触頻度によるベッド周囲の汚染度, 関西医療大学奨励研究報告書, 提出日H22. 4.30

板東正己: 精神看護学学習会, 大阪, 広島, 2008年4月～現在に至る